

組織がつなぐと 救える人が 増えていく



災害中間支援組織設立フォーラム

災害時、本当に必要な支援とは何か。

「被災者支援とは何か、どうあるべきか」を災害支援に関わる全ての方と一緒に考え
被災地に生じる様々なニーズや課題に対して、
行政とボランティア団体・NPO・企業等が連携し
被災者一人ひとりに寄り添う支援のあり方を考えます。

ご予約はこちらから



参加無料 || 事前予約制 先着順

※ 定員になり次第募集を締め切ります

日時 2026 9/10 木 13:30~16:30

開催場所 栃木県総合文化センター
特別会議室 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8

主催 栃木県

プログラム紹介



オープニング



講演

テーマ

なぜ今、災害中間支援組織が必要なのか

災害時に本当に必要なのは、被災者一人ひとりに寄り添う支援です。

本フォーラムでは、行政の役割や被災者支援のあり方を学び、行政・民間・社会福祉協議会が連携することの重要性や、それぞれの役割について理解を深めます。災害時の多様な課題に対し、官民が協働する支援体制のあり方を参加者とともに考えます。



パネルディスカッション

ファシリテーター 神元 幸津江（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD））

登壇者

- ・古越 武彦
- ・神元 幸津江（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD））
- ・災害中間支援組織関係者

内容

- 他県の事例を参考に、本県における災害支援のあり方を考える
- ・他県の経験から考える、平時から備えておくこと
 - ・災害時に円滑に活動できた事例、困難だった事例
 - ・平時からの連携、関係づくりについて など

分科会

事例を学びつつ、災害時の自団体の役割を考えるワークを実施します。

あなたの活動における「災害支援」の可能性を見つけよう

ファシリテーター / 講師

古越 武彦
神元 幸津江
（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD））

災害時におけるこども支援を考えよう

ファシリテーター / 講師

小野 道子
（NPO法人災害時こどものこころと居場所サポート代表）
廣田 宜子
（NPO法人ながのこどもの癒いいきプロジェクト災害支援事業担当チーフ）

外国人の視点から災害時の課題を考えよう

ファシリテーター / 講師

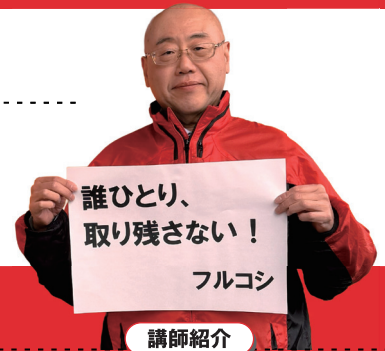
高木 和彦
（NPO法人多文化共生マネージャー
全国協議会副代表理事）



終了

共通テーマ

災害時の課題を、一つでも多く解決するために！



講師紹介

古越 武彦氏

長野県災害時支援ネットワーク共同代表。
認定特定非営利活動法人長野県NPOセンター
災害支援事業統括。
元長野県職員。長野県職員30年のうち、後半15年間は危機管理・防災関連の業務に従事。
2022年3月に早期退職し、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）に入職。
2023年4月に長野県の災害中間支援組織である「長野県災害時支援ネットワーク（N-NET）」の専従として長野県NPOセンターに入職。
長野県域における被災者支援のための様々な事業に取り組んでいる。

開催場所のご案内

栃木県総合文化センター 特別会議室 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8

アクセス



バスをご利用の場合

「県庁前」「東武駅前」停留所下車 徒歩で約3分
（関東バス）細谷車庫、駒生営業所行きなど



電車をご利用の場合

JR 宇都宮線
JR 宇都宮駅（西口）下車 バスで「県庁前」下車 徒歩で約3分
または タクシーで約5分（約1,600m）

東武宇都宮線
東武宇都宮駅下車 徒歩で約10分（約700m）

※ 公共交通機関をご利用ください。

